



大洲市社協  
ゆるキャラ  
うーちゃん



大洲市

No.132 2016年 新年号

# 社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会  
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313  
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>  
大洲市社協



写真：肱川あらし展望公園から見た肱川あらし

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと  
心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、本会に対しまして何かとご支援、  
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、昨年は新生大洲市社会福祉協議会が発足し  
て十周年を迎える節目の年でありました。

介護保険制度につきましても、これまで幾多の  
法改正があり、その都度、時代の要請、変化に対応し  
てまいりましたが、昨年は、生活困窮者自立支援法  
の施行や介護保険制度における総合事業の見直し  
など、さまざまな制度が大きく変わる節目の年であ  
つたと思います。

介護報酬のマイナス改定や人材確保の問題が嚴  
しさを増す状況下にあって、中重度者への対応の強  
化や経営のさらなる効率化が求められており、特に  
今後、医療の再編が進む中で医療・介護連携を本格  
化させていくことが大きな課題と言われています。  
今年は、こうした制度の動向を見据えながら、一  
層の経営効率化を進めるとともに、従来からの小地  
域福祉活動や住民参加型在宅福祉サービスの参加  
者拡大、移動サービスやふれあい・いきいきサロン  
の充実など、市民の皆様をはじめ市行政並びに関係  
団体と連携しながら、社協ならではの役割の發揮に  
努めてまいりますので、一層のご支援・ご協力を賜  
りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして、より良き年であります  
ように、心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨  
拶といたします。



大洲市社会福祉協議会  
会長 田上 隼藏

謹  
賀  
新  
年





## まごころのおくりもの 10月分

### 金銭の部（一般分）

大洲地域労働者福祉協議会様  
八幡浜市

水沼和弘様 長浜町  
ベレツツア南予教室  
議兼勝様 松山市  
(指定分)

《喜多地区社協へ》  
白石八朗様 東宇山  
猪川たつみ様 東大洲  
《長浜地区社協へ》  
水沼和弘様 長浜町  
《肱川地区社協へ》  
白尾公男様 肱川町

### 《特別養護老人ホーム かわかみ荘様へ》

草莽の一虫様 大洲市  
《櫛生公民館様へ》  
水沼和弘様 長浜町

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

### 各種出店や催し物の様子



心からお祝い申し上げます。  
おめでとうございました。

**■大洲手をつなぐ育成会会長表彰**  
手をつなぐ育成会功労表彰  
山本りえ（阿藏）

**身体障がい者協議会会長表彰**  
菊地達雄（長浜）



## 平成27年度 大洲市地域福祉(ボランティア)研修会を開催します!!

(大洲市くらしの相談支援センター ふくし支援セミナー合同開催)

テーマ 障害特性を持つ方も安心して暮らしつづけられる地域を目指して  
～発達障害を知って深める～

発達障害を持つ方も生涯にわたり、豊かで自立した生活を送ることができるように、私たち一人ひとりが、障害の特性や生活場面での困難さや不安を知り、深め、いかにして孤立することなく、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるかを考え、今後の地域福祉活動の一助となることを目的に開催します。

【日 時】	平成28年2月27日(土)
【会 場】	大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール
【定 員】	300名(無料)
【日 程】	午後1時30分 講演(午後1時開場)
【申込締切】	平成28年2月12日(金)
【参 加 対象】	

☆地域福祉に関心のある方  
☆発達障害に関心のある方 ☆障がい者支援に関心のある方  
☆民生児童委員・協力会員・在宅福祉推進員・ボランティア  
☆地域福祉に関わる福祉・保健・医療関係者

### 【問い合わせ・申込み先】

大洲市社会福祉協議会 本所 地域福祉係  
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1  
TEL 0893-23-0313 FAX 0893-23-0295  
E-mail chiiki@ozushakyo.jp

**【講 師】** ひの こうそう 氏

明蓮館高等学校 理事長 校長 兼 SNEC  
(すねっく、スペシャルニーズ・エデュケーションセンター) センター長  
アットマーク国際高等学校 校長  
※同校は、自閉症作家として高名な  
東田直樹氏の母校として知られる。



1959年愛媛県大洲市生まれ。1982年岡山大学法文学部経済学科卒業。1999年に学校を運営するための会社、(株)アットマーク・ラーニング社を設立。日本初の株式会社運営の通信制高校を開校。「発達障害などスペシャルニーズを持つ子供たちを救いたい!!」という志からオルタナティブ(隙間を埋める)な教育機会の創出を目指している。

## 視覚障がい者 横田弓さんとの交流活動～ブラインドテニス体験!!～

**11月6日(金)、平小学校4年生** 総合的な学習の時間に、横田弓(西予市在住でブラインドテニス全国大会優勝経験者)さんと交流学習を行いました。

横田さんの目が、徐々に見えなくなっていましたという経験談を子どもたちは、熱心に聴いていました。サーブを打つ人が「行きます！」と言うと、対面のコートの人が「はい！」と返事します。その声をたよりに、対面のコートの人がサーブを打ちます。そして、どこにボールが落ちたかを、アイマスクを付けた人に1~9の数字を使って知らせているところです。コール(ボールが落ちた位置等をわかりやすく伝えること)が大変上手な児童さんがいました。



**11月12日(木)平野小学校4年生** 総合的な学習の時間に、横田弓さんと交流学習を行いました。

横田さんの生活の工夫やアイメイト(盲導犬)について、4年生からの質問に答えながら、わかりやすく伝えてもらいました。そして、困っている人がいたら、勇気を持って声をかけてほしいと言われていました。

実際にアイマスクをして、ブラインドテニス用のラケットで音の鳴るボールを対面のコートに向かって打ってみました。児童たちは、サーブもレシーブも大変上手でした。



↓ダブルスの様子

突起ラインの確認 ↓



11月29日(日)大洲市総合運動公園 体育館において、ブラインドテニス愛媛(B.T.愛媛)代表 中岡和芳さんによるブラインドテニス(日本発祥。視覚に障がいがあるなしに関わらず子どもから高齢者まで楽しめるテニス競技)の体験会が行われました。参加者らは、アイマスクをして音の鳴るボールを受け止める体験をした後、突起しているラインを触ってサーブ場所の位置確認を行ったり、実際にダブルスでの試合を行い、サーブを打ち、対面コートの人が3バウンドで返すという本番さながらの試合を行い、充実感と笑顔あふれる体験会になりました。

ブラインドテニスは、平成29年のえひめ国体のデモンストレーションスポーツにもなっており、B.T.愛媛は「たくさんの人人に知ってもらい、盛り上げたい」という思いで今後も活動を続けられます。



試合前後に握手

### 心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	<b>【一般相談】</b> 毎週月・水 <b>【介護相談】</b> 毎週金 <b>【弁護士法律相談※要電話予約】</b> 毎月第1・3火(1月5日と1月19日) <b>【司法書士等法律相談】</b> 毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時~午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※年始・祝日を除く
長浜支所	1月22日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時~午後4時
肱川支所	1月5日(火) 大洲市肱川公民館 午後1時30分~午後4時30分
河辺支所	1月12日(火) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時~正午
問い合わせ先	本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 腱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510